

親子で体験！みそ作り

2月23日(土)大河公民館で小学生とその保護者11組24人が参加してみそ作りが行われました。

JA広島市 地域ふれあい課職員の指導の下、広島産の大豆や米を使ってみそを作りました。

カビが生えないように、調理用具や手の消毒をして、柔らかく煮た大豆をつぶし、塩入米麹と混ぜ合わせます。

それを野球ボール大に丸め、空気が入らないよう容器に詰めます。後は持ち帰り、半年熟成させたらみそのできあがり。



しっかり丸めて

大河小学校へ江田島オリーブ

3月11日(月)大河小学校でオリーブの植樹式がありました。

大河小の3・4年生と江田島市中町小から2名の児童、江田島・広島両市長が参加され、校庭の一角に2本のオリーブが植えられました。

2014年に「江田島市・広島市海生交流協定」が結ばれ、その一環で江田島市から贈られたものです。

植樹後は教室で「えたじまん」のオリーブ・牡蠣・みかんの紹介がありました。

来年度から両小学校の交流が始まり、オリーブの木は授業の中で活用されるそうです。



大河水産まつりへ行ってみた！

2月17日(日)丹那漁港で第14回大河水産まつりがあり、たくさんの人出で賑わっていました。毎年楽しみにして訪れる人が多く、無料試食の「海苔汁」や「焼きガキ」には、長蛇の列！

新鮮な魚やカキ、広島産の生ワカメ、生海苔、海苔製品などがお手頃価格で並び、調理の仕方や保存方法を訪ねる人もいます。

釣り堀コーナーでは、子どもたちが泳ぐ魚を追いかけて、魚を釣り上げたら歓声を上げていました。



やったー！

狙った魚は？

受賞おめでとうございます

広島県と広島市の社会福祉大会において
・広島県社会福祉協議会会長表彰 神出恭子さん
・広島県共同募金会会長表彰 松本秀樹さん
・広島市長表彰 濱本一美さん
・広島市社会福祉協議会会長表彰 松本秀樹さんが受賞されました。



神出さん



松本さん



濱本さん

ホツと情報④ 地域の輪

この人紹介



今回は、旭一丁目にお住まいで大河音頭を唄われる高橋博喜さん(70歳)です。50歳の時、藤倉敏光さん(大河音頭の継承者・故人)と知り合い音頭を習った。上達したいとボイストレーニングに通い大きな声が出るようになった。楽譜が読めるようになったらとピアノの個人レッスンも受けたが、現在は……

広島県を退職後、人のためになることをしたいと、高齢者施設で、利用者と一緒に歌うことを始めた。レパートリーは童謡80曲、昭和の歌謡曲280曲、皆が知っている曲を選んで歌う。歌の日を楽しみにしている利用者があることが嬉しいそうだ。他の趣味は囲碁。仲間内では下から二番目の実力と笑う。実子はいないが、亡くなった弟夫婦の孫(2歳)に会いに年一回、栃木県へ出かけるのを楽しみにして「man's japan」。

編集後記

3月4日はバウムクーヘンの日です。それが広島由来とは何だか誇らしいですね。他にも広島発祥のものを探してみたいかがですか？

竹中 由紀・土本由美子
中澤 通世・浜根千津子
宮尾 邦子

いきいき大河

～社協だより～

発行 大河地区社会福祉協議会
会長 中本 信雄
編集 広報部会
責任者 中澤 通世

地域の頼もしい組織「広島市南消防団大河分団」

消防団の歴史は古く、江戸時代、八代将軍吉宗が江戸南町奉行の大岡越前守に命じて、町火消「いろは四十八組」を設置させたことが始まりとされています。

消防団は、本業を持ちながら「自分たちの町は自分たちで守る」という精神に基づいて活動している身近な防災機関です。消防団員は、消火・防災に関する技術や知識を習得し、防災指導を行ったり、火災発生時の消火活動、地震や風水害時の救助・避難誘導など、地域住民の生命や財産を守るため日頃から訓練を重ねています。

現在、市内には8消防団、84分団があり、約2700人の消防団員が活躍しています。

その中の一つが南消防団大河分団で、24名(30代～60代)の団員が活動しています。

昨年は火災で4回出動し、夏の豪雨災害時には、安芸区矢野や熊野町へ出動して、人命探索をしました。その他にも、出初式、水防訓練、防災訓練、消防操法大会、年末特別警戒など、一年を通じて様々な活動があります。

地域のイベント(とんどや盆踊りなど)が行われるときに、火災予防の呼びかけや警戒活動を行っています。



消防団員集合！



とんどでの消火活動



ポンプ操法大会にて

団員募集中！

年齢が18歳から60歳位までの方で、地域の為に一緒に活動をしていただける方を募集しています。

男女は問いません。
連絡先：090-2802-5808(清水)



清水 賢二 分団長

団員は皆、体力づくりの為に筋トレをしたり、健康管理に気を付けていたりして、地域の為に頑張っています。

私自身は入団して30年、家族の理解、協力があって続けられています。団員の使命感、責任感は強く、今後も怪我をしないように活動を続けたいと思います。

大河とんど祭り2019

～燃えろよとんど 子どもの笑顔 大河の絆～

1月13日(日)穏やかな青空の下で、とんど祭りが大河小学校において開催されました。

川野洋実行委員長の開会宣言の後、光清学園の皆さんによる和太鼓演奏、新体操クラブの子どもたちのハツラツとした演技で祭りが始まりしました。平和公園から採火された「平和の灯」が、



子どもたちの持つトーチに移され、とんどに火が点けられると、パンパンという竹がはじける音とともに炎も大きくなり歓声が上がりました。

家庭から持ち込まれたしめ飾りを受け取ったり、餅つきを子どもたちが手伝い、ついた餅が入ったぜんざいが振舞われました。恒例となったフライドポテトや綿菓子にも長い列ができ、にぎやかなとんど祭りとなりました。



大河健康教室2019

1月27日(日)大河公民館において、大河地区社会福祉協議会主催による大河健康教室が開催されました。

地域の高齢者など96人が参加して、大腸がんとその予防について学び、ギター漫談を聞いて楽しいひと時を過ごしました。

講演 「今 日本人のお腹が危ない！」

講師 健康管理士 原田 史子(新ヤクルト販売(株))

内容 大腸がんは、女性の死亡率第一位 男性の罹患率第一位

増えた原因の一つは、食生活の欧米化で、腸内の悪玉菌が有害物資を作り、便秘により有害物質が腸内に長く留まること。

大腸がんを防ぐには、腸内環境をよくすること。ウンチを見れば腸の状態がわかる。

1 ウンチを作るチカラ

バランスの取れた食生活が基本。野菜・キノコ・芋・海藻などの食物繊維と水分をしっかりとってウンチの量を増やす。

2 ウンチを育てるチカラ

育てる場所は腸。腸には沢山の細菌が棲んでいる。健康を維持する良い菌と中間の菌、悪い菌もいるので良い菌の多い腸内環境を作ること。乳酸菌飲料や発酵食品、食物繊維、オリゴ糖をとりましょう。

3 ウンチを出すチカラ

加齢や運動不足により腸の周りの筋肉が衰えると、腸の動きが鈍り、ウンチが細くなる。腸トレ体操で、腸の周りの筋肉を鍛える。

毎日行くトイレは、腸からのお便りをくれる場所です。毎日スルッと出て、形はバナナ状、量はバナナ2～3本分位、臭いがきつくな色は黄色がかった褐色で水に浮くのが、良いウンチです。お腹を元気にして、健やかな毎日を過ごしましょう。



原田 史子さん

大阪で風呂屋の長女として育つ。趣味はバイク。五日間で本州一周 3500km 走破!

「唄と健康のギター漫談」 風呂 哲州(広島演芸協会所属)

新井貴浩の野球人生、2018年の出来事などを歌でつづり、皆を楽しませました。



最後にボランティアの作ったおむすびと豚汁を食べながら楽しいひと時を過ごしました。

似島と戦争と歴史

～baumクーヘンをめぐる物語～

大河地区青少年健全育成連絡協議会と大河公民館の共催で、毎年夏に行われている「夏休みピーススクール」が、7月の豪雨災害により延期となり、12月22日(土)に大河公民館で開催されました。講師は似島臨海少年自然の家の平岡健太郎主事と小北 潤主事で、子ども21名、大人15名が参加しました。

最初に戦争と深い関わりがある似島の歴史について話がありました。

明治28年に陸軍検疫所ができ、10年後その一角に捕虜収容所がつけられました。大正時代にはドイツ捕虜545名が3年間過ごしています。彼らは収容所内で語学講習会、演劇活動、音楽会など様々な活動をして、広島市民を驚かせています。

また、ドイツの進んだ工業技術を紹介する捕虜の作品展即売会が、1919年(大正8年)3月4日広島県物産陳列館(現在の原爆ドーム)で開催され、捕虜の一人カール・ユーハイムがbaumクーヘンを出品しました。

それから100年、baumクーヘンは広島が発祥の地なのです。

話を聞いた後、参加者全員でbaumクーヘンを作りました。ホットケーキのような生地を竹にたらし廻しながら炭火で焼き目をつけて、また生地をたらし、これを繰り返して作り、おいしいbaumクーヘンが出来ました。

参加者からは、「貴重な体験ができた」「baumクーヘンづくりと平和学習ができ充実した時が過ごせた」「みんなが協力してbaumクーヘンを作ったから楽しかった」などとても好評でした。



生地を付けて



回して焼いて



出来上がり

ボランティアバンク「ひまわり」リニューアル

大河地区ボランティアバンク「ひまわり」の申し込み場所が大河集会所の2階から1階に移り、便利になりました。

受付時間 毎週月曜日 10時30分から12時

方 法 来所または電話

電話：080-8240-6674

(ボランティアが待機しています)



お待ちしています。

ボランティアの例

- ・通院や買い物、行事への参加などの付き添い
- ・ゴミ出しや重い物の移動
- ・家の掃除、庭の草取り
- ・障子の張り替え
- ・電球の取り換え
- ・衣服のボタン付け、ほころびの直し
- ・話し相手
- ・幼稚園児のお迎え など

